



The Fifth Tokyo Fiscal Forum

G20 の成果：アジアにとっての意義

議事日程

2019 年 11 月 20～21 日

東京プリンスホテル



1日目: 11月20日(水)

時間	
オープニングセッション	
9:30 AM – 9:40 AM	歓迎挨拶: 遠山 清彦 (日本財務省副大臣)
9:40 AM – 9:50 AM	写真撮影
パート 1: 質の高いインフラ投資 (QII)	
9:50 AM – 10:00 AM	基調演説: 古澤 満宏 (IMF 副専務理事)
	ビデオ: IMF とインフラ・ガバナンス
<p>セッション 1: 質の高いインフラ投資 (QII)</p> <p>G20大阪サミットでは、QIIの促進に向けたG20共通の戦略的方向や高い理念を掲げた「質の高いインフラ投資に関するG20原則」が承認された。この導入セッションでは、日本議長から、この原則及び、原則に沿ったインフラ投資の実施を支援するためのG20の成果物を紹介する。</p>	
10:00 AM – 10:50 AM	<p>議長: Damien Dunn (G20 インフラ作業部会共同議長、オーストラリア)</p> <p>発表: QII—G20の成果 有泉 秀 (日本財務省大臣官房審議官 (国際局担当))</p> <p>QII と IMF: Gerd Schwartz (IMF 財政局 副局長)</p> <p>ディスカッション及び質疑応答</p>
10:50 AM – 11:00 AM	コーヒーブレイク

セッション2: アジアにおける公的投資の効率化

インフラ投資の効果を最大化し、ライフサイクルコストを考慮した経済性を向上させることは、QIIの中核的な要素であり、強固なインフラ・ガバナンスはこの目的を達成する鍵となる。本セッションでは、アジアが直面するインフラ・ガバナンスの課題を検証するとともに、IMFのPublic Investment Management Assessment (PIMA)が実施された国の事例を議論することを通じ、PIMAがどのようにインフラ・ガバナンスの強化やインフラ投資の質の向上を支援できるかについて検討する。

11:00 AM – 0:50 PM

議長: Odd Per Brekk (IMF アジア太平洋局副局長)

発表:

- [1] アジアにおけるインフラ・ガバナンスの課題 – ADBの視点
Bruno Carrasco (ADBガバナンスグループチーフ)
- [2] アジアにおけるインフラ・ガバナンスの課題 – IMFの視点
Manal Fouad (IMF 財政局課長)
- [3] 国別ケース: インドネシア
Taufik Hanafi (国家開発企画庁次官)
- [4] 国別ケース: モルディブ
Mohamed Imad (国家計画開発省プロジェクト最高責任者)

ディスカッション及び質疑応答

0:50 PM – 2:00 PM

昼食会

スピーチ: アジアにおける IMF のキャパシティ・ディベロップメント活動

鷲見 周久 (IMF アジア太平洋地域事務所長)

<p>セッション3: 環境や社会に配慮したインフラ投資</p> <p>インフラプロジェクトは、環境及び社会に対し、プラス・マイナス両方の影響をもたらす。したがって、環境及び社会への影響は重要な要素として配慮されるべきであり、予算及びプロジェクトのサイクルを通してシステムティックに管理されるべきである。本セッションでは、これらにいかに関心を持ってインフラ投資を実施するかを議論する。</p>	
2:00 PM – 3:50 PM	<p>議長: 西沢 利郎（東京大学公共政策大学院教授）</p> <p>発表:</p> <p>[1] 環境や社会に配慮したインフラ投資 Robert Youngman（OECD 環境局 グリーンファイナンスアンドインベストメント チームリーダー）</p> <p>[2] ADBの視点 Chiara Bronchi（ADB 持続的開発・気候変動局チーフテーマチックオフィサー）</p> <p>[3] 国別ケース: 韓国 Kiwon Kim（韓国開発研究院公共投資管理センター事務局長）</p> <p>[4] 国別ケース: ブータン Loday Tsheten（財務省国家予算局課長）</p> <p>ディスカッション及び質疑応答</p>
3:50 PM – 4:00 PM	<p>コーヒーブレイク</p>

セッション 4: アジアにおける強靱なインフラの構築

アジアの多くの国々では自然災害が頻発しており、気候変動によってそれがさらに悪化すると予想される。事前により強靱なインフラに投資することにより損害を減らすことができるにもかかわらず、多額の初期費用が足かせとなって相当の投資不足が起こっている。本セッションでは、強靱なインフラを実現するためにどのような制度的枠組みを構築すべきかについて議論する。

4:00 PM – 5:50 PM

議長: Vitor Gaspar (IMF 財務局長)

発表:

- [1] アジアのインフラ投資における災害リスク管理の主流化
Jim Brumby (世界銀行 ガバナンスグローバルプラクティス課長)
- [2] 大規模自然災害の影響を受けやすい開発途上国における強靱性の構築
Krishna Srinivasan (IMF 西半球局 副局長)
- [3] 税收減を利用した自然災害の予測及び災害債の発行
吉野 直行 (アジア開発銀行研究所長)
- [4] 国別ケース: フィリピン
Rolando U. Toledo (予算管理省 次官補)

ディスカッション及び質疑応答

2日目: 11月21日(木)

時間	備考
パート 2: 高齢化が財政政策に与える影響	
9:00 AM- 9:10 AM	基調演説: 吉野 直行 (アジア開発銀行研究所長)
セッション 1: グローバルな視点 - G20 の成果 <p>高齢化による経済的影響の大きさに鑑み、今年の G20 では、高齢化及びその政策的影響に焦点を当てた議論を行った。IMF は、高齢化がマクロ経済に及ぼす影響と政策的示唆を検証した分析を提供することにより、この議論に積極的に貢献した。本セッションでは、重要性を増しているこの議題についてグローバルな展望を示すため、これらの議論のハイライトを紹介する。</p>	
9:10AM - 10:10 AM	発表: [1] G20 討議のハイライト 関根 敏隆 (日本銀行金融研究所長) [2] 高齢化がマクロ経済に及ぼす影響と政策的示唆 Vitor Gaspar (IMF 財政局長) ディスカッション及び質疑応答
10:10AM - 10:20 AM	コーヒーブレイク

セッション2: アジアへのインプリケーション

国により段階は異なるが、アジアは、高齢化に象徴される人口動態の変化を経験している。すでに急速な高齢化に直面している国々は、脆弱な高齢者には十分な支援を提供しつつ、社会保障制度の持続可能性を確保するための対策を講じる必要がある。まだ人口ボーナスを享受している国々は、やがて起きる人口の高齢化に備えつつ、教育やインフラに必要な多額の支出に対応しなければならない。本セッションでは、アジアにおける人口動態の変化がもたらす財政への影響について議論し、財政的に持続可能な形でこの変化に効果的に対応するための政策措置を探る。

10:20AM – 0:50 PM

議長: Chul Ju Kim (アジア開発銀行研究所副所長)

特別セッション: 日本における高齢化と財政への影響

吉川 洋 (財務総合政策研究所名誉所長)

発表:

[1] 国別ケース1: 日本

Todd Schneider (IMFアジア太平洋局副課長)

[2] 国別ケース2: 中国

Zhu Guangyao (国務院参事・前財政部副部長)

[3] 国別ケース3: インドネシア

Suahasil Nazara (財務副大臣)

[4] 国別ケース4: インド

Shamika Ravi (インド・ブルッキングス研究所研究部長)

ディスカッション及び質疑応答

0:50 PM – 1:00 PM

閉会挨拶 — 大鹿 行宏 財務総合政策研究所長